

令和2年度 新潟市老人福祉センター いこいの家 楽友荘 総括

・指定管理者として、1年間大きな事故、大きなトラブルも無く、無事管理運営ができました。

- ① 施設内の定期的な巡回を実施し、ご利用者の安全利用を確保しました。
- ② 緊急時における連絡体制を確立し、消防訓練等を実施し全職員に統一した危機管理意識を持たせています。
- ③ 施設本体や設備に係る修繕を行い、建物の安全や延命化を図りました。
- ④ 新型コロナウイルス対策のためにイベントが制限される中、8月に骨密度無料測定会とお笑いバラエティー、1月と2月に変わり湯を2回開催し、ご利用者の利用満足度向上を図りました。
- ⑤ ご利用者の要望等を管理運営に活かすため「アンケート箱」を常時設置し、8件の回収がありました。その内容を「スタッフミーティング」で共有しました。
- ⑥ 外注委託費等の経費削減を図るため、自社で行える業務はできるだけ自社で行いました。
- ⑦ 新型コロナウイルス対策として、大広間のテーブルの間隔をあけて設置しました。利用者が入館する際には手指消毒の促進と検温を実施。受付にはビニールシートを設置するなど新潟市のガイドラインに沿った対策を講じ、安全にご利用いただけるよう努めました。

反省・改善・展望

- ① 年間の利用者数が19,611人と前年から6,596人の減少で、昨年対比75%でした。4月、5月と前年度の3月に引き続き新型コロナウイルスの感染予防のため臨時休館となりました。
ウイルス感染対策により集客をするイベント開催ができなかったため、日常でのご利用者とのコミュニケーションをこれまで以上に重視し、積極的に声掛けをして会話を増やすよう努めました。また、楽しんでいただく事業はもちろん、引き続き日常の運営に関してもご利用者の満足度が高くなる運営ができるよう、努力してまいります。
- ② 現場スタッフとの連絡やミーティングを増やすことで状況の把握をより確実なものとし、それによって、ご利用者の満足度向上を図り、入館者数の増加に努めていきます。
- ③ 建物・施設設備等、巡回・点検・調査等定期的実施し、早めの修繕等で建物全体の延命化を図ってまいります。